

職員行動計画書

【平成29年度】

科名	眼科	総括責任者	部長	白石 亮
—		副責任者		

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

開業医との連携を深め、地域医療の充実を目指します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
紹介患者獲得のため、医師会眼科部会への参加	医師	参加回数	年2回	年2回	(なし)
開業医との連携による逆紹介の推進	医師	逆紹介率	112%	107.12%	紹介率・逆紹介率
科内カンファレンス	医師、看護師、視能訓練士	開催数	毎月1回	随時	(なし)

II 患者満足度の視点

【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

診察待ち時間の短縮につとめ、患者満足度の向上に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
業務の効率化・他職員との連携強化	医師、看護師、視能訓練士	診察待ち時間	前回調査比10分短縮	1時間10分16秒	(なし)

III 経営・財務の視点

【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①手術患者を確保することで、入院稼働額増を目指します。
- ②コスト意識向上に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
開業医との連携による手術患者の確保	医師	手術件数	300件件／年	263件	医業収支比率
手術時のコスト意識の向上	医師	ストック品の削減、使用品の低コスト化	前年度比10%削減	-	医業収支比率
業務の効率化による時間外勤務の削減	医師	1人当たり時間外勤務時間数(月)	前年度比10%削減	24.17時間	職員給与費対医業収益比率

職員行動計画書

【平成29年度】

科名	眼科	総括責任者	部長	白石 亮
—		副責任者		

IV 職員の学習と成長の視点

【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①病院運営を理解するため、院内研修会に積極的に参加します。
- ②大学病院との連携強化を行います。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
他部門主催研修への参加	医師	参加数	年5回	年4回	職員向け院内研修会の1人当たりの参加数
大学病院との情報交換会への参加	医師、視能訓練士	参加数	年2回	年2回	(なし)

V 社会貢献の視点

【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

眼科医療に関心のある学生の育成に貢献します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
眼科医療に関心のある学生の積極的受入れ	医師、視能訓練士	受入人数	1人	0人	学生実習受入人数

職員行動計画書

【平成29年度】

科名	耳鼻咽喉科	総括責任者	部長	横山 真紀
病棟名	3S病棟	副責任者	看護師長	日下 順子

I 医療の質と効率の視点 【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

紹介患者受入増、逆紹介の推進により医療の機能分化を進めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
地域医療機関との積極的な交流による紹介患者受入増	医師、病診連携室	紹介率	58%	55.67%	紹介率・逆紹介率
地域医療機関との積極的な交流による逆紹介の推進	医師、病診連携室	逆紹介率	50%	40.04%	紹介率・逆紹介率

II 患者満足度の視点 【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①待ち時間短縮により患者満足度を向上します。
- ②診療計画を明確にすることで、患者の不安を和らげます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
診察前、診察後の流れの時間短縮による待ち時間短縮	受付、DA、検査室、会計	患者1人当たりの平均待ち時間	前回調査比5分減	1時間1分6秒	(なし)
クリニカルパス運用による入院診療計画の可視化	医師	クリニカルパス運用率	80%	77.74%	(なし)

III 経営・財務の視点 【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

診療稼働額の増加を目指します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
逆紹介の推進による外来診療単価増	医師	外来診療単価	前年度比増	6,937円	外来診療単価
重症患者受入による入院診療単価増	医師	入院診療単価	前年度比増	61,698円	入院診療単価

職員行動計画書

【平成29年度】

科名	耳鼻咽喉科	総括責任者	部長	横山 真紀
病棟名	3S病棟	副責任者	看護師長	日下 順子

IV 職員の学習と成長の視点

【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

病院運営を理解するため、院内研修会への積極的な参加を心がけます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
院内研修会への参加	医師	参加数	1人年5回	-	職員向け院内研修会の1人当たりの参加数
病院間の症例検討会への参加	医師	参加数	1人年1回	-	(なし)
病棟カンファレンスの充実	医師、看護師、薬剤師	参加数	1人年6回	-	(なし)

V 社会貢献の視点

【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

研究会、講演会、講習会への積極的な参加を心がけます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
学会発表	医師	発表数	年3回	-	学会及び論文研究発表件数

職員行動計画書

【平成29年度】

科名	リハビリテーション科 リハビリテーション技術科	総括責任者	部長 科長	杉木 正 磯谷 誠
—		副責任者	課長代理	笠原 まゆみ

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①大腿骨頸部骨折地域連携パスの使用率の向上により効率化を図ります。
②チーム医療(RST、NST、褥創委員会、緩和医療委員会、糖尿病対策委員会)に積極的に参加し、他職種と連携を取りながらリハビリテーションの視点で進言します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
大腿骨頸部骨折連携パスの使用率の向上	医師	件数	20件(年間)	54件(年間)	紹介率・逆紹介率
RST(呼吸サポートチーム)	医師、看護師、臨床工学技士、リハビリテーション技師	開催数(参加)	回診50回 委員会12回 勉強会4回(リハ)	回診44回 委員会12回 勉強会4回	(なし)
NST(栄養サポートチーム)	医師、看護師、薬剤師、栄養士、臨床検査技師、リハビリテーション技師	開催数(参加)	委員会4回 講義1回(リハ)	委員会3回 講義1回	(なし)
褥創委員会	医師、看護師、薬剤師、栄養士、臨床検査技師、リハビリテーション技師	開催数(参加)	回診12回	回診10日	(なし)
緩和医療委員会	医師、看護師、薬剤師、栄養士、臨床検査技師、リハビリテーション技師	開催数(参加)	委員会12回 イベント1回 講義1回(リハ)	委員会12回 緩和週間相談1回 講義1回	(なし)
糖尿病診療対策委員会	医師、看護師、薬剤師、栄養士、臨床検査技師、リハビリテーション技師	開催数(参加)	委員会12回 イベント1回 講義1回(リハ)	委員会12回 糖尿病週間1回 講義1回	(なし)

II 患者満足度の視点

【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

リハビリの計画的な指示・実施により指示・実施単位件数の増加を図ることで、早期にリハビリテーションを実施し、待機患者の削減を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
計画的指示・実施による待機患者数削減	医師、リハビリテーション技師	待機患者数	前年度比5%削減	34名	(なし)

職員行動計画書

【平成29年度】

科名	リハビリテーション科 リハビリテーション技術科	総括責任者	部長 科長	杉木 正 磯谷 誠
—		副責任者	課長代理	笠原 まゆみ

Ⅲ 経営・財務の視点

【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

加算の積極的な取得や指示・実施単位数の向上により、収入を確保します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
リハビリテーション指示単位数(実施単位数)の向上	医師、リハビリテーション技師	単位数	年46,000単位	年45,553単位	医業収支比率
加算の積極的な取得	リハビリテーション技師	件数	計画書2,000枚 退院時指導800件	計画書1,700枚 退院時指導831件	医業収支比率

Ⅳ 職員の学習と成長の視点

【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度(やりがい度)の獲得(職場環境、研修・教育、評価と処遇改善)
------	--------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①リハビリテーションカンファレンスの定期的な実施や院内研修への積極的な参加により、職員の能力向上を図ります。
- ②科内学習会を実施し、科内職員のスキルアップを図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
整形外科カンファレンスの実施	医師、看護師、リハビリテーション技師	開催数	年間50回	50回/年	(なし)
脳外科カンファレンスの実施	医師、看護師、リハビリテーション技師	開催数	年間25回	25回/年	(なし)
心リハビリテーションカンファレンスの実施	医師、看護師、リハビリテーション技師	開催数	年間50回	30回/年	(なし)
他部門主催研修への参加	医師、リハビリテーション技師	参加数	1人あたり年4回	概ね4回/年	職員向け院内研修会の1人当たりの参加数
科内学習会の開催	リハビリテーション技師	実施回数	年20回	20回/年	(なし)

職員行動計画書

【平成29年度】

科名	リハビリテーション科 リハビリテーション技術科	総括責任者	部長 科長	杉木 正 磯谷 誠
—		副責任者	課長代理	笠原 まゆみ

V 社会貢献の視点

【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①リハビリテーションを目指す学生の育成に貢献します。
- ②市民を対象とした講義等を行います。
- ③学会等で演題発表を行います。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
学生指導	リハビリテーション技師	学生実習(リハビリテーション技師)受入人数	年7人	7人/年	学生実習受入人数
市民アカデミーなどの講義の実施	医師、リハビリテーション技師	実施回数	年2回	年2回	講座及び講演数
学会等での発表	医師、リハビリテーション技師	発表回数	年1回	年1回	学会及び論文研究発表件数

職員行動計画書

【平成29年度】

科名	放射線診断科	総括責任者	部長	屋代 英樹
—		副責任者	医長	小林 真紀子

I 医療の質と効率の視点 【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①CT・MRIを初めとする画像診断機器の有効的活用による検査数の増加と、共同利用数の増加を図ります。
②画像診断管理加算2体制の維持による臨床医への速やかな検査結果報告による医療の質向上を図ります。

MRI検査予約待ちの短縮を図る	計画実行者	成果指標	H29目標値	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
連携BOXのPR	医師、放射線技師	連携BOXの利用数	前年度比5%増加	-	紹介率・逆紹介率
紹介患者獲得のための開業医への連携強化	医師、放射線技師 地域連携室	紹介数	前年度比5%増加	-	紹介率・逆紹介率
常勤医による夜間・休日遠隔読影の実施	医師	遠隔読影応需率	90%以上	-	救急患者受入数

II 患者満足の視点 【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①土曜日のMRI委託検査の実施により地域医療へ貢献します。
②検査予約待ちの短縮により、患者サービスの向上を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
土曜日MRI委託検査の実行	医師・放射線技師	MR検査委託数	MR委託検査1.2倍	-	(なし)
CT検査予約待ちの解消の体制を維持する	医師、放射線技師	検査予約待ち日数	即日実施	-	(なし)
検査効率の向上によりMRI検査予約待ちの短縮を図る	医師、放射線技師	検査予約待ち日数	前年度比10%短縮	-	(なし)

職員行動計画書

【平成29年度】

科名	放射線診断科	総括責任者	部長	屋代 英樹
—		副責任者	医長	小林 真紀子

Ⅲ 経営・財務の視点 【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

①大血管センターの一員として心臓血管外科・血管外科との協力体制の元、ステントグラフト治療を行い、心臓外科・血管外科の入院診療単価の向上を目指します。
 ②IVR-CTを利用した高度な治療の提供により、肝動脈化学塞栓術・血管形成等の手技を施行し診療単価の向上を目指します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
ステントグラフト治療数	医師	手術数	30件以上/年	-	入院診療単価
肝動脈化学塞栓術	医師	件数	50件以上/年	-	入院診療単価
血管形成術	医師	件数	50件以上/年	-	入院診療単価
委託件数や紹介者数増加による収入確保	医師	検査件数	前年度比5%増	-	医業収支比率
画像診断管理加算2体制の維持	医師	翌診療日読影率	80%以上	-	医業収支比率

Ⅳ 職員の学習と成長の視点 【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

専門医の取得・維持を図るための、学会参加を促進し、高度な診療技術の維持を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
放射線診断専門医維持のための学会参加	医師	参加数	1回	-	有資格者数
IVR専門医取得・維持のための学会参加	医師	参加数	1回	-	有資格者数
肺がんCT検診認定医取得・維持のための講習会参加	医師	参加数	2名以上	-	有資格者数
院内にて静脈注射講習会を行い、看護師・臨床研修医師の静脈注射技術の向上を図る	医師	講師回数	各々1回以上	-	有資格者数

職員行動計画書

【平成29年度】

科名	放射線診断科	総括責任者	部長	屋代 英樹
—		副責任者	医長	小林 真紀子

V 社会貢献の視点

【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①学会発表などの学術活動の充実を図ります。
- ②地域医療を支える人員の増加を図るため、地域での看護教育に協力します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
学会発表	医師	発表数	年2回(共同発表含む)	-	学会及び論文研究発表件数
看護大学校での放射線科講義の実施による教育への協力	医師	講座数	2回	-	講座及び講演数

職員行動計画書

【平成29年度】

科名	放射線治療科	総括責任者	部長	玉井 好史
—		副責任者	主任医長	今宮 聡

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

高性能リニアックの安定稼働を行います。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
定位照射のスムーズな受け入れ	医師・技師	年間定位照射実施人数	25人/年	-	(なし)
IMRTの本格的な始動	医師・技師	年間IMRTでの治療患者数	20人/年	-	(なし)

II 患者満足度の視点

【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

患者目線に立った放射線治療を実施します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
放射線治療の計画から実際の治療までの視覚的確認	医師・技師	紹介DVDの導入	紹介DVDの作製	-	(なし)
各臓器別治療成績の提示	医師	代表疾患のうち3年生存率をHPに掲載した疾患数	2疾患以上	-	情報発信件数
臓器別の治療に関わる注意説明文書の充実	医師	説明書作成	SRT、IMRT説明文書追加	-	(なし)
治療別の請求コスト概算の提示	医師、受付	コスト概算書のテンプレート作製	典型的照射症例の概算表	-	(なし)

職員行動計画書

【平成29年度】

科名	放射線治療科	総括責任者	部長	玉井 好史
—		副責任者	主任医長	今宮 聡

Ⅲ 経営・財務の視点 【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

放射線治療の対象患者を獲得します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
院内各種カンファレンスへの出席	医師	年間の院内医師依頼患者数	160人	139人	入院診療単価
他院説明会への出席	医師	年間の他院からの紹介患者数	45人	41人	外来診療単価

Ⅳ 職員の学習と成長の視点 【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

治療スキル向上のため、学会に参加します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
学会参加	医師・技師	参加回数	年1回以上	1回	(なし)

Ⅴ 社会貢献の視点 【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

地域社会へ放射線治療に関する情報を提供し、貢献します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
地域市民への放射線治療説明会	医師	実施回数	2回/年	0回	講座及び講演数

職員行動計画書

【平成29年度】

科名	救急科・救急外科 救命救急センター	総括責任者	救命救急 センター長	葉 季久雄
病棟名	救急病棟	副責任者	看護師長 看護師長	関口 保子 藤田 智子

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- 救命救急センターとして、「断らない救急医療」を実践します。
- 生命の危機に瀕した重症患者を受け入れます。
- 救命救急センター内の職種の垣根を越えた連携を図り、よりよいチーム医療を実践します。
- 重症患者の治療にあたり、『多職種回診』を行いチーム医療を実践します。
- 地域救急隊との連携を向上させます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
近隣消防本部への挨拶回り	医師・事務(医事課)	訪問回数	2回	2回	(なし)
救急患者受入数	医師	受入患者数	7800件	7854人	救急患者受入数
年間重篤患者数 (厚生労働省「救命救急センターの新しい充実度評価」)	医師	重篤患者数	800人	795(H27実績)	(なし)
救命救急センター会の開催	医師・看護師	救命救急センター会の回数	月1回(8月を除く)	0回	(なし)
多職種カンファレンスを行う	医師・看護師・薬剤師・(事務)	カンファレンスの回数	週1回	0回	(なし)
救急事例検討会の開催	医師・事務(医事課)	開催回数	2回	2回	(なし)

II 患者満足の視点

【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- 救命救急センターとして、「断らない救急医療」を実践します。
- 救命救急センターとして、救急医療に関する情報を発信します。
- 接遇を向上させると共に、受診時間の短縮に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
救急隊からの受入れを促進する	医師	応需率	98%	98%	(なし)
様々なツール(病院本、Smile!・ホームページ)を通じた広報活動	医師・看護師	情報発信したツール数	3媒体	0媒体	情報発信件数
接遇を向上させる	医師・看護師	クレーム数	10件未満	6件(師長が介入したもの)	(なし)
ERにおける受診時間の短縮	医師・看護師・事務	受付時間～診察終了までの時間(受診時間)	10%短縮	116分(4月平均待ち時間)	(なし)

職員行動計画書

【平成29年度】

科名	救急科・救急外科 救命救急センター	総括責任者	救命救急 センター長	葉 季久雄
病棟名	救急病棟	副責任者	看護師長 看護師長	関口 保子 藤田 智子

Ⅲ 経営・財務の視点

【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①救急搬送件数を増加させます。
- ②入院患者数(軽症経過観察・重症集中治療)を増加させ、入院稼働額の増加をめざします。
- ③救急病棟の効率的運用方法を見出します。
- ④救急外来スタッフのコスト意識の向上を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
救急患者受入数増加 とくに重症患者受入数増加(救急外来)	医師	受入患者数	7800件	7854人	医業収支比率
救急患者受入数増加 とくに重症患者受入数増加(救急外来)	医師	平均外来患者数	12人	14人	1日当たり平均外来患者数
救急患者受入数増加 とくに重症患者受入数増加(救急外来)	医師	外来診療単価	29,000円	28,985円	外来診療単価
重症患者を中心とした入院管理を行い、入院稼働額をあげる	医師	入院診療単価	71,000円	70,863円	入院診療単価
重症患者を中心とした入院管理を行い、入院稼働額をあげる	医師	入院患者数	100人/年	116人	(なし)
救命救急センター内(特に外来)における、『コスト漏れ削減』	医師・看護師・事務	コスト漏れ額	全体の10%未満	10.60%	(なし)
救急病棟の入院稼働率(利用率)上昇	医師・看護師・事務	病床利用率	70%	67.20%	病床利用率
救急病棟の入院稼働額上昇	医師・看護師	入院診療単価	148870円	68,403円	入院診療単価

Ⅳ 職員の学習と成長の視点

【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度(やりがい度)の獲得(職場環境、研修・教育、評価と処遇改善)
------	--------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①院内研修会への参加により、他分野の見識を深めます。
- ②専門職としての自己研鑽に努め、教育や研究活動に参加します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
院内研修会への参加	医師・看護師	参加数	1人あたり5回	1人あたり4回	職員向け院内研修会の1人当たりの参加数
看護研究の立案、実践	看護師・医師	行う看護研究の数	2件	0件	(なし)
働きやすい職場環境の調整	看護師	離職率	5%未満	4.6%(退職看護師2人/46人中)	(なし)
院外研修会への参加	医師・看護師	参加数	1人あたり2回	1人あたり1回(59件/年)	(なし)

職員行動計画書

【平成29年度】

科名	救急科・救急外科 救命救急センター	総括責任者	救命救急 センター長	葉 季久雄
病棟名	救急病棟	副責任者	看護師長 看護師長	関口 保子 藤田 智子

V 社会貢献の視点

【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①救急ワークステーション(救急WS)を通じて、重症傷病者に対する病院前からの医療に参画します。
- ②災害に即応できる体制、能力を構築します。
- ③救急救命士の実習を受入れ、育成に努めます。
- ④学生教育を受入れ、学生に救急医学に関心を持ってもらいます。
- ⑤認定看護師・看護師の能力を活かした健康教育を行います。
- ⑥論文、学会発表を通し、academic emergency physician, academic acute care surgeon, academic ER nurse としての地位を確立します。
- ⑦医療系学生もしくは中高生へ向けた「救命救急センター」紹介・体験企画を行い、興味・関心を持ってもらいます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
救急WSでの出勤	医師・看護師	救急WS出勤件数	150件	157件	社会貢献活動の実施数
災害訓練への参加	医師・看護師・薬剤師・技師	訓練参加数	10件	6件	社会貢献活動の実施数
救急救命士の病院実習を受け入れる	医師・事務	受入れ救急救命士数	55人	52人	社会貢献活動の実施数
医学部学生の臨床実習を受け入れる	医師	受入れ学生数	1人	3人	学生実習受入人数
論文発表、学会発表を通じたacademismの獲得	医師	論文数	1編(共著者含む)	0編	学会及び論文研究発表件数
論文発表、学会発表を通じたacademismの獲得	医師・看護師	学会研究発表数	8回(共同演者含む)	15編程度	学会及び論文研究発表件数
認定看護師・看護師による健康講座の開催	看護師	講演数	1回	4回	講座及び講演数
医療系学生(中高生)向け見学企画『ひらつかER救命救急センター 24時』の開催	医師・看護師・事務	開催数	1回	0回	講座及び講演数

職員行動計画書

【平成29年度】

科名	麻酔科	総括責任者	部長	秋山 麻紀
病棟名	手術室	副責任者	主任医長	三浦 正明

I 医療の質と効率の視点 【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

地域に根ざした病院として重症または急性期治療で手術が必要な患者がすみやかに手術を迎えることができる環境を整えます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
手術スケジュールの調整により重症患者の手術件数増加	医師、看護師	重症患者の手術件数	前年度比5%増加	431件	重症度、医療・看護必要度(一般病棟)

II 患者満足の視点 【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

当院の手術に対する取組や手術の情報を患者さんや市民に提供します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
患者・市民向け院内講座開催	医師	開催数	年1回	0回	情報発信件数

III 経営・財務の視点 【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

職員のコスト意識向上に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
コスト意識の向上	医師、看護師	ストック品の削減	前年度比2%削減	-	医業収支比率
業務の効率化による時間外勤務の削減	医師、看護師	1人当たり時間外勤務時間数(月)	前年度比2%削減	25.48時間	職員給与費対医業収益比率

職員行動計画書

【平成29年度】

科名	麻酔科	総括責任者	部長	秋山 麻紀
病棟名	手術室	副責任者	主任医長	三浦 正明

IV 職員の学習と成長の視点

【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

新専門医制度による専門研修基幹施設との連携強化を行います。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
専門研修基幹施設との情報交換会への参加	医師	参加数	年2回/科	1回	(なし)

V 社会貢献の視点

【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

論文・発表など学術活動の充実を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
研究発表	医師	発表数	年1回(共同発表含む)/科	2回	学会及び論文研究発表件数
患者・市民向け院内講座開催	医師	開催数	年1回	0回	講座及び講演数

職員行動計画書

【平成29年度】

室名	保健指導室	総括責任者	室長	高橋 久雄
—		副責任者		

I 医療の質と効率の視点 【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

安全で効率的な健診・予防接種体制を構築します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
一般向けの健康診断時及び予防接種時の手順の遵守	医師、看護師、事務職	インシデントの発生件数	0件	0件	(なし)

II 患者満足の視点 【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

健康診断・予防接種受診者が快適な環境で安心して受診をできる体制を構築します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
一般向けの健康診断及び予防接種時に丁寧な説明を行う。	医師、看護師	苦情件数	0件	0件	(なし)

III 経営・財務の視点 【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①コスト管理を徹底し、経費削減に努めます。
- ②職員の健康管理を徹底し、心身が良好な状態での業務への従事と人材の有効活用に寄与します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
薬品等の適切な管理(予防接種)	医師、看護師	薬品費の節約	破棄薬剤0%	0%	医業収支比率
病院職員の定期健康診断の際により細かなアドバイスを行う。	医師、看護師	病気による新規退職者数	前年度未満	5人	職員給与費対医業収益比率

職員行動計画書

【平成29年度】

室名	保健指導室	総括責任者	室長	高橋 久雄
—		副責任者		

IV 職員の学習と成長の視点

【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

研修等に積極的に参加し、医療者のレベルアップを図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
他施設の学会・研修への参加	医師、看護師	参加回数	学会2回、研修2回	学会2回、研修3回	(なし)

V 社会貢献の視点

【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

地域活動を積極的に行います。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
健康診断あるいは予防接種についての院内セミナー等の開催（一般向け）	医師	開催回数	年1回	0回	(なし)

職員行動計画書

【平成29年度】

科名	看護科	総括責任者	看護部長	本谷 菜穂子
—		副責任者	副看護部長	成田小百合・阿部博子・稲村ほづみ

I 医療の質と効率の視点 【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

1. 高度医療に対応できる質の高い看護の提供に努めます。
2. 根拠や基準・手順を遵守し、安全な看護の提供に努めます。
3. 他職種連携・協働によるチーム医療を実践します

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
ナーシングスキルの活用による手順基準の遵守	全看護職員	院内研修参加者のナーシングスキル利用率	100%	-	(なし)
患者に不利益を及ぼさない安全な看護	全看護職員	インシデントレベル3報告	前年比50%以下 (16件以下)	-	(なし)
患者に不利益を及ぼさない感染管理	全看護職員	感染アウトブレイク	0%	-	(なし)
部門間の相互連携によるカンファレンスの実施	師長・看護師・看護補助員・医師・コメディカル	カンファレンス実績	1回/2か月以上	-	(なし)
業務の効率化を図るための具体的な検討	全看護師	リーダー送りの廃止に向けた検討	リーダー送りの廃止	-	(なし)

II 患者満足の視点 【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

1. 患者に選ばれる病院づくりに努めます。
2. 患者に快適な療養環境を提供します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
専門職として品格ある接遇	全看護職員	満足度調査	前年度から10%改善	-	(なし)
周産期医療の充実	産科病棟師長・助産師・医師	分娩件数	前年度から10% up	-	分娩件数
助産師外来の充実	産科病棟師長・助産師	外来指導件数	前年度から10% up	-	(なし)
広報の充実 (HPやスマイル等での情報発信)	看護部長・副看護部長・広報委員・事務職	情報発信・更新数	4回/年以上の情報発信数	-	情報発信件数
病棟・病室内における5Sの推進	全病棟勤務職員	環境感染ラウンド結果	指摘事項各部署3件以下/年	-	(なし)

職員行動計画書

【平成29年度】

科名	看護科	総括責任者	看護部長	本谷 菜穂子
—		副責任者	副看護部長	成田小百合・阿部博子・稲村ほづみ

Ⅲ 経営・財務の視点 【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

1. 求められる医療・看護の提供に向けて人材確保に努めます。
2. 入院患者の確保に努めます。
3. 看護職員の経営参画への意識向上に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
人材確保	看護部長・副看護部長・看護師長・事務職	常勤看護師確保数	70人以上/年	-	(なし)
効率的な病床管理	看護部長・副看護部長・師長・病床管理担当看護師・医師・事務職	病床利用率	90%以上	86.20%	1日当たり平均入院患者数
重症度、医療・看護必要度の適切な評価	全看護師	一般病棟における基準クリア率	27%以上	-	(なし)
時間外業務の削減	全看護師	常勤看護師一人当たりの月平均超過勤務時間	10時間以下	10.43時間	職員給与費対医業収益比率
退院支援リンクアスの活用による円滑な退院調整	全看護師	スクリーニング活用率	100%	-	(なし)

Ⅳ 職員の学習と成長の視点 【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

1. 質の高い看護サービス提供のため、人材育成に努めます。
2. 組織のニーズを踏まえた認定看護師等を計画的に育成します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
看護管理者の育成	看護部長・副看護部長・師長	人事評価の正しい理解と活用	100%	-	(なし)
認定看護師の育成と特定行為の検討	看護部長・副看護部長・師長・認定看護師・医師	認定看護師教育課程への進学派遣	2名/年以上	-	有資格者数
ジェネラリスト育成	看護部長・副看護部長・師長	目標管理面接による指導と人材育成ノート活用	100%	-	(なし)
看護補助員リーダーの育成	副看護部長・師長・看護師	技術チェックリストによる評価	チェックリストクリア 80%以上	-	(なし)
専門職としての自己研鑽	全看護職員	所属に関連した領域の研修参加率	1回/人/年以上 (感染・安全の必須を除く)	-	職員向け院内研修会の1人当たりの参加数

職員行動計画書

【平成29年度】

科名	看護科	総括責任者	看護部長	本谷 菜穂子
—		副責任者	副看護部長	成田小百合・阿部博子・稲村ほづみ

V 社会貢献の視点

【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

1. 職員や学生に選ばれる病院づくりに努めます。
2. 地域の看護の質の向上に努めます。
3. 研修等を通して地域住民に対する健康教育等に努めます。
4. 業務改善や研究活動の成果を学会等で発表し、学術活動の充実を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
看護基礎教育や認定看護師教育の実習受け入れ	看護部長・副看護部長・師長・看護師	実習受入数	基礎:5校以上/ 年 認定:1領域/年	-	学生実習受入人数
地域の医療機関・学校・看護教育機関への協力	看護部長・副看護部長・師長・看護師	研修講師、アドバイザー派遣数	10件/年以上	-	講座及び講演数
地域住民に対する健康教育等の実施	認定看護師	研修講師派遣数	5件/年以上	-	講座及び講演数
職務に関連する学会への参加・発表	看護部長・副看護部長・師長・看護師	学会及び論文研究発表件数	国保・全自病各1 題以上、他の発表 年1例以上	-	学会及び論文研究 発表件数

職員行動計画書

【平成29年度】

科名	全科	総括責任者	室長	宮崎 宏道
病棟名	ICU・CCU	副責任者	看護師長	進藤 厚子

I 医療の質と効率の視点 【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

質の高い高度な医療を提供する場としてICU・CCUを発展させます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
各診療科が利用しやすい運用	医師、看護師	1日当たり平均入院患者数	8人	6.1人	(なし)
ICU・CCU管理が必要な症例(術後、救急)が適時に利用できる運用	医師、看護師	利用できない率	0%	1.3%	救急患者受入数
集中治療室委員会の開催	医師	開催回数	年間2回	年間1回	(なし)

II 患者満足の視点 【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①ICU・CCUとして信頼される急性期医療を提供します。
- ②ご家族が安心できる環境を提供します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
患者の要望を十分に聴取する。	医師、看護師	苦情件数	0件	0件	(なし)
面会時、ご家族と積極的に意思疎通する。	医師、看護師	苦情件数	0件	0件	(なし)

III 経営・財務の視点 【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

病院収益増へ貢献します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
病床利用率の向上による入院患者数の増	医師、看護師	1日当たり平均入院患者数	8人	6.1人	1日当たり平均入院患者数

職員行動計画書

【平成29年度】

科名	全科	総括責任者	室長	宮崎 宏道
病棟名	ICU・CCU	副責任者	看護師長	進藤 厚子

Ⅳ 職員の学習と成長の視点

【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①スタッフのスキルアップを目指します。
- ②新入職者の育成プログラムを作成します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
院内研修会への積極的参加	看護師	参加数	1名あたり5回	5回	職員向け院内研修会の1人当たりの参加数
各科別勉強会の開催	看護師	勉強会開催数	年間8回	7回	(なし)
育成プログラムの作成	看護師	育成プログラム作成率	100%	50%	(なし)
症例検討会の開催	医師、看護師	開催数	年間4回	2回	(なし)

Ⅴ 社会貢献の視点

【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①模範となるようなICU・ICUを目指します。
- ②周術期医療に関心のある学生の育成に貢献します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
他施設からの見学受け入れ。	医師、看護師	受け入れ回数	年間3回	3回	(なし)
論文作成	医師、看護師	論文数	年間3編	0編	学会及び論文研究発表件数
研究発表	医師、看護師	発表数	年間3回	0回	学会及び論文研究発表件数
周術期医療に関心のある学生の受け入れ	看護師	受け入れ人数	年間10名	1名	学生実習受入人数

職員行動計画書

【平成29年度】

科名	薬剤科	総括責任者	薬剤部長 兼科長	山際 一也
—		副責任者	科長代理	高田 みゆき

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①適正かつ経済的な薬物使用に寄与します。
②効率的な薬剤チェックを行います。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
薬剤師による薬物療法への積極的関与	薬剤師	プレアポイド報告神奈川県最多施設賞	受賞する	受賞した	(なし)
ハイリスク薬のチェックを標準化する	薬剤師	チェック項目を決める	10薬剤以上	なし	(なし)

II 患者満足の視点

【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①薬の正しい服用を推進します。
②薬の安全な使用を推進します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
服薬指導(入院患者薬剤管理指導、入院患者退院時薬剤情報管理指導)の実施	薬剤師	服薬指導件数(入院服薬指導件数+退院指導件数)	10,500件	11,205件	(なし)
薬剤師による薬物療法への積極的関与	薬剤師	プレアポイド報告神奈川県最多施設賞	受賞する	受賞した	(なし)

III 経営・財務の視点

【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①薬品購入費の削減に努めます。
②服薬指導の積極的な実施により収入を確保します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
後発品への切替え推進	薬剤師	後発品の切り替え率	90%	85.5%	後発医薬品の使用割合
服薬指導(入院患者薬剤管理指導、入院患者退院時薬剤情報管理指導)の実施	薬剤師	服薬指導件数(入院服薬指導件数+退院指導件数)	10,500件	11,205件	医業収支比率

職員行動計画書

【平成29年度】

科名	薬剤科	総括責任者	薬剤部長 兼科長	山際 一也
—		副責任者	科長代理	高田 みゆき

Ⅳ 職員の学習と成長の視点

【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

院内職員に学習の機会を提供します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
他部署職員向け講座の開催	薬剤師	講義回数	年1回	年1回	(なし)

Ⅴ 社会貢献の視点

【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①学会発表など学術活動の充実を図ります。
- ②情報発信により、地域貢献に取り組みます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
学会発表	薬剤師	発表回数	年3回	年4回	学会及び論文研究発表件数
地域住民向け講演会の開催	薬剤師	公民館での講演回数	年1回	年1回	講座及び講演数

職員行動計画書

【平成29年度】

科名	放射線技術科	総括責任者	科長	石川 修二
—		副責任者	科長代理	河並 昭彦

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①地域医療の拡充を目指し、医療機器の共同利用を推進します。
- ②高精度の定位照射の治療を確立します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
医療機器の委託検査推進	放射線技師、地域連携室、放射線診断部医師	検査数	昨年度放射線技術科委託検査の1.2倍	CT、MR、RI、骨密度1,582件	紹介率・逆紹介率
定位照射適用患者の受け入れ増加	放射線治療部医師、放射線技術科技師	治療患者数	年間20件	年2件	(なし)

II 患者満足の視点

【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①救急センターからの検査依頼対応能力の強化を図ります。
- ②CT造影検査における副作用の発生を予防します。
- ③強度変調放射線治療の施設基準を取得します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
救急センターからのMR検査依頼に対応できる日当直対応技師を増やします。	放射線技師	日当直対応技師の習熟率	100%	88% (18人中16人)	(なし)
CT検査前の飲水の励行	放射線技師	副作用発生率の低下	前年比5パーセント減	発生116件	(なし)
強度変調放射線治療(IMRT)の技術対応	放射線技師	施設認定取得	施設認定取得	-	(なし)

職員行動計画書

【平成29年度】

科名	放射線技術科	総括責任者	科長	石川 修二
—		副責任者	科長代理	河並 昭彦

Ⅲ 経営・財務の視点

【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①土曜日のMR委託検査を定着させ、検査数増加を図ることで収入の増加につなげます。
- ②新システム導入における接続費用の削減を図ります。
- ③CT造影剤納入価格の見直しによりコスト削減に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
土曜日委託検査実行	診断部、放射線技師、地域連携室	MR委託検査数	MR委託検査1.1倍	664件	医業収支比率
各既存メーカーとの交渉システム接続費	放射線技術科、経営企画課、放射線診断部、臨床検査科	コスト削減	初回費用から20パーセント減	-	医業収支比率
CT造影剤納入価格の見直し	放射線技師、放射線診断部	コスト削減	交渉対象造影剤5パーセント減	-	薬品費対医業収益比率

Ⅳ 職員の学習と成長の視点

【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

院外講習会などに積極的に参加し専門知識の向上に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
外部、各学会、各講習会参加数	放射線技術科	延べ参加人数	延べ40人	40人	(なし)

Ⅴ 社会貢献の視点

【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①学会、講習会での学術活動の充実を図ります。
- ②放射線技師学校の学生を育成します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
各学会、各講習会発表数	放射線技師	発表数	年5回	学会年2回 各講習会7回	学会及び論文研究発表件数
放射線技師学校の臨床実習受け入れ	放射線技師	人数	年2人	0人	学生実習受入人数

職員行動計画書

【平成29年度】

科名	臨床工学科	総括責任者	科長	熊澤 義雄
—		副責任者	副主任	中西 利基

I 医療の質と効率の視点 【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

質の高い高度医療機器を提供します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
医療機器が安心して使用できる保守点検体制の構築	臨床工学技士	ME機器点検件数	前年度比5.0%増	6,264件	(なし)
主要臨床業務マニュアルの作成	臨床工学技士	マニュアルの作成	マニュアルの作成	-	(なし)

II 患者満足度の視点 【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

断らない人工透析治療を提供します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
血液透析(火木土)の導入	(医師) (看護師) 臨床工学技士	年間透析件数	前年度比2.0%増	857件	(なし)

III 経営・財務の視点 【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

職員のコスト意識の向上に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
手術室におけるコスト意識の向上	臨床工学技士	人工心肺装置(消耗品)のコスト削減	前年度比5.0%削減	-	医業収支比率
業務効率化による時間外勤務の削減	臨床工学技士	1人当たり時間外勤務時間数の削減(月)	前年度比5.0%削減	31.83時間	職員給与費対医業収益比率

職員行動計画書

【平成29年度】

科名	臨床工学科	総括責任者	科長	熊澤 義雄
—		副責任者	副主任	中西 利基

IV 職員の学習と成長の視点

【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

医療機器の安全な使用法を学ぶ機会を提供します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
医療機器安全研修会の開催	臨床工学技士	開催回数	年9回	8回	(なし)
医療機器安全研修会のeラーニング導入	臨床工学技士	導入数	研修2件分	0件	(なし)

V 社会貢献の視点

【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

臨床工学に関心のある学生の育成に貢献します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
臨床工学に関心のある学生の育成	臨床工学技士	受入人数	7名	7名	学生実習受入人数

職員行動計画書

【平成29年度】

科名	臨床検査科	総括責任者	科長	石田 博昭
—		副責任者	科長代理	鈴木 知幸

I 医療の質と効率の視点 【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

業務の効率化に取り組みます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
採血の待ち時間の短縮	検査技師	一人あたりの平均待ち時間	前年度比10%の短縮	-	(なし)

II 患者満足の視点 【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

患者さんが快適に受診できる環境を整えます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
採血待ち時間の削減	検査技師	待ち時間の短縮	前年度比10%の短縮	-	(なし)

III 経営・財務の視点 【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

職員の意識向上に努め、コスト削減を目指します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
新たな画像保存システムの接続料の削減	検査技師、放射線技師	システムの接続料の削減	業者提示額から20%接続料の削減	-	医業収支比率
委託業務料の見直し	検査技師、事務職	委託業務料の削減	前年度比5%の削減	-	医業収支比率
業務の効率化による時間外勤務の削減	医師、検査技師、視能訓練士	1人当たり時間外勤務時間数(月)	前年度比5%の削減	7.10時間	職員給与費対医業収益比率

職員行動計画書

【平成29年度】

科名	臨床検査科	総括責任者	科長	石田 博昭
—		副責任者	科長代理	鈴木 知幸

IV 職員の学習と成長の視点

【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

様々な場に積極的に出席し、職員の能力向上を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
他部門主催の研修への参加	検査技師	参加数	1人あたり5回	-	職員向け院内研修会の1人当たりの参加数
周囲の病院で症例検討会への参加	医師、検査技師、放射線技師	参加数	1人あたり3回	-	(なし)
地域技師会への参加	検査技師	参加数	1人あたり2回	-	(なし)
資格の取得	検査技師	新規資格取得者数	1人	-	有資格者数

V 社会貢献の視点

【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①将来を担う人材の育成に貢献します。
- ②学術活動の充実を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
臨床検査学科を有する学校からの実習生の受け入れ	検査技師	人数	3人	-	学生実習受入人数
研究発表	検査技師	発表数	年1回以上	-	学会及び論文研究発表件数

職員行動計画書

【平成29年度】

科名	栄養科	総括責任者	科長	磯谷 誠
—		副責任者	科長代理	古屋 久美子

I 医療の質と効率の視点 【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①地域医療・福祉栄養部門の連携に取り組みます。
②リーダー的役割のあるチーム医療の充実に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
地域医療・福祉栄養士研修会の実施	管理栄養士	開催数	年1回	0回	(なし)
NST(Nutrition Support Team)研修会の実施	医師、看護師、管理栄養士、薬剤師、言語聴覚士、臨床検査技師	開催数	年5回(内1回院外向け)	年4回	(なし)

II 患者満足の視点 【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

患者さんに快適な療養環境を整備します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
妊産婦食の充実	栄養士、調理師	分娩件数(周産期センターに対する患者満足度)	前年比10%増	453件	分娩件数
高齢者向け災害備蓄食の充実	管理栄養士	採用品目	2種類増	3種類	(なし)
指定難病の小児に対する栄養指導の充実	管理栄養士	指導病態作成数	2病態	0病態	(なし)

職員行動計画書

【平成29年度】

科名	栄養科	総括責任者	科長	磯谷 誠
—		副責任者	科長代理	古屋 久美子

Ⅲ 経営・財務の視点

【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

職員のコスト、経営への参加意識向上に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
食材料費削減、廃棄食材削減にむけ現状調査の実施	栄養士、調理師	廃棄量調査	年12回	0回	医業収支比率
食器紛失数削減	栄養士、調理師	前年比	10%減	451,030円	医業収支比率
特別食加算取得率増加	医師、管理栄養士	前年比	1%増	30.80%	入院診療単価
栄養指導件数増加	医師、看護師、管理栄養士	件数	年3,400件	3,393件	入院診療単価

Ⅳ 職員の学習と成長の視点

【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①病院運営を理解するため、院内研修会に積極的に参加します。
- ②業務充実のための専門資格の取得に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
院内研修会への参加	管理栄養士	参加数	1人当たり6回	1人当たり6回	職員向け院内研修会の1人当たりの参加数
専門資格取得、保持、更新への取り組み	管理栄養士	人数	延10名	延9名	有資格者数
科内症例検討会の実施	管理栄養士	開催数	年12回	0回	(なし)

職員行動計画書

【平成29年度】

科名	栄養科	総括責任者	科長	磯谷 誠
—		副責任者	科長代理	古屋 久美子

V 社会貢献の視点

【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①医療分野で活躍できる管理栄養士・学生の育成に努めます。
- ②地域住民へ健康な食生活情報の発信に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
臨床栄養学実習受け入れの実施	管理栄養士	人数	年8名	年6名	学生実習受入人数
県、地域栄養関連団体における役員の受任	管理栄養士	件数	年3名	年2名	(なし)
疾病予防の食生活に関する出張講座	管理栄養士	開催数	年1回	年0回	講座及び講演数
院内糖尿病講座、イベントの開催	医師、看護師、管理栄養士、薬剤師、リハビリテーション技師、臨床検査技師	開催数	年4回	年3回	講座及び講演数

職員行動計画書

【平成29年度】

科名	医療安全管理室	総括責任者	室長	奥貫 由美
—		副責任者	副室長	片岡 誠

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

安心で質の高い医療を提供する環境を整備します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
リスク管理を推進する	医療安全管理室担当者 医療安全管理者会メンバー (院内医療安全管理者・医療安全推進者) セーフティマネージャー (所属長)	アクシデント(レベル3b以上)報告比率	インシデントレポート報告比率 1%以内	0.04%	(なし)
安全対策の標準化	医療安全管理室担当者 医療安全管理者会メンバー (院内医療安全管理者・医療安全推進者)	薬剤・医療機器管理部門のマニュアル作成	2種類	-	(なし)

II 患者満足の視点

【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

院内医療事故の発生を防止するように努め、患者さんが安心して受診、療養できる環境を整えます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
レベル3b以上のアクシデントの発生比率が前年度以下になるようにインシデント報告の分析と再発防止策の提案に努める	医療安全管理室担当者 医療安全管理者会メンバー (院内医療安全管理者・医療安全推進者)	レベル3b以上の報告比率 再発防止策の提案	前年度報告比率以下 報告の再発防止策の策定	0.04% 2種類増加	(なし)

職員行動計画書

【平成29年度】

科名	医療安全管理室	総括責任者	室長	奥貫 由美
—		副責任者	副室長	片岡 誠

Ⅲ 経営・財務の視点 【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①5S活動の定着化を図り、職員のコスト意識向上に努めます。
②経営管理に参画します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
5S活動を通じた改善による効率化の推進	医療安全管理室担当者、看護師、薬剤師、セーフティストッフ、セーフティマネージャー	薬品ストック品の削減	前年度比5%削減	-	薬品費対医業収益比率
提供する医療の質向上を図ることによる経営の安定化の推進	医療安全管理室担当者 職員	アクシデント(レベル3b以上)報告比率	インシデントレポート報告比率 1%以内	0.04%	医業収支比率

Ⅳ 職員の学習と成長の視点 【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度(やりがい度)の獲得(職場環境、研修・教育、評価と処遇改善)
------	--------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

質の高い医療を提供するために、医療安全体制を理解するための研修会に参加できる環境を整備します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
医療安全研修会の開催	医療安全管理室担当者	開催回数	12回/年	10回/年	(なし)

Ⅴ 社会貢献の視点 【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献(災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など)
------	----------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

地域の中核病院として、医療の安全に関する情報の提供に貢献します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
地域医療機関の医療者の研修参加を支援する	医療安全管理室担当者 病診連携室担当者	研修開催数	1回/年	-	講座及び講演数

職員行動計画書

【平成29年度】

科名	病診連携室	総括責任者	室長	小出 隆司
—		副責任者	主査	白子 嘉威

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

地域医療連携の充実と指導的役割を果たします。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
地域医療連携登録医との懇親会企画	医師、事務職	開催回数	1回以上	実績なし	紹介率・逆紹介率
連携医療機関へのあいさつ周り	事務職、医師	年間日数	80日	166日	紹介率・逆紹介率
地域の医療従事者向け研修企画	事務職	専門・認定看護師の院外派遣回数	年1回以上	実績なし	紹介率・逆紹介率
地域の医療従事者向け研修企画	医師、事務職	OpenCancerBoardの企画	年1回以上	3回	紹介率・逆紹介率
市役所との連携や協働態勢を整える (地域包括ケアシステムの意識づけ)	事務職	地域包括ケア推進課との コラボレーション投げかけ相談件数	年1件以上	実績なし	紹介率・逆紹介率

II 患者満足度の視点

【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

医療機能分化の啓発・広報活動を行い、病状に即した病院利用を促します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
病院広報誌「SMILE!」紙面上での医療機能分化啓発記事の掲載	事務職	紙面掲載回数	1回以上/年	実績なし	情報発信件数
病院ホームページ連携室ページの更新	事務職	更新回数	4回以上/年	4回	情報発信件数
「広報ひらつか」での医療機能分化啓発記事掲載	事務職	紙面掲載回数	1回以上/年	1回	(なし)

職員行動計画書

【平成29年度】

科名	病診連携室	総括責任者	室長	小出 隆司
—		副責任者	主査	白子 嘉威

Ⅲ 経営・財務の視点 【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

職員勤務の効率化を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
室内の勤務シフト制の導入検討 (救命救急センター認可による影響)	事務職	1人当たり時間外勤務 時間数(月)	前年度比10%削減	6.25時間	職員給与費対医業 収益比率

Ⅳ 職員の学習と成長の視点 【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度(やりがい度)の獲得(職場環境、研修・教育、評価と処遇改善)
------	--------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

室内スタッフの能力向上に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
室内における個人情報保護・情報セキュリティ 対策の意識向上	事務職	外部研修の受講回数	年1回	実績なし	(なし)
職員満足度向上対策として、職場環境改善提 案を定期的実施する。(ボトムアップ)	事務職	所属長との面談によ る、改善提案件数	年1件以上	実績なし	(なし)

Ⅴ 社会貢献の視点 【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献(災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など)
------	----------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

がん診療連携指定病院として、地域でのがん診療において指導的役割を果たします。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
小中学生むけのがん教育 平塚市役所の教育指導課と実施に向けた検 討	事務職	協議回数	年2回以上	1回	(なし)

職員行動計画書

【平成29年度】

科名	退院支援・医療相談室	総括責任者	室長	木花 いづみ
—		副責任者	室長代理	女屋 早苗

I 医療の質と効率の視点 【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①入退院支援を充実させるためにPFMセンター企画案を作成します。
- ②地域医療連携を推進します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
PFMを行っている病院(PFM考案の東海大学附属病院、自治体病院で先行している横浜市民病院、当院と同規模の自治体病院厚木市立病院)を見学する	MSW、退院調整看護師、医事課	見学件数	3件/年	なし	(なし)
病院見学時の視点や、見学後のまとめ・報告等、当院でPFMを行える可能性をディスカッションする。	MSW、退院調整看護師、医事課	ディスカッション開催数	5回/年	なし	(なし)
当院で実施可能なPFM企画案を作成する	MSW、退院調整看護師、医事課	企画案作成	3月中に作成	なし	(なし)
訪問看護師や地域包括支援センターと情報共有のためのミーティングを開催する	所属職員全員	開催数	年2回	なし	紹介率・逆紹介率

II 患者満足度の視点 【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

後方連携機関と緊密に連携を図り、患者様、ご家族が安心・満足して次の療養場所に移行できるよう支援します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
「そばに寄り添い、共に闘う」医療の提供ができるように退院支援カンファレンスを実施する	医師、病棟看護師、MSW、退院調整看護師	カンファレンス開催件数	20件/月	16件/月	(なし)
後方連携機関に関して、より具体的な説明を患者、家族にできるよう後方連携機関と面談をする	MSW、退院調整看護師、退院支援室事務員	面談件数	20施設/年	15施設/年	(なし)
患者満足度向上に向け支援に関するアンケート調査を行う。	所属職員全員	改善件数	5件	なし	(なし)

職員行動計画書

【平成29年度】

科名	退院支援・医療相談室	総括責任者	室長	木花 いづみ
—		副責任者	室長代理	女屋 早苗

Ⅲ 経営・財務の視点 【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①室内の時間外勤務時間数を前年度より10%減らし、経費を削減します。
②指導を積極的に実施することで収入を確保します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
勤務時間の割振変更や緊急相談ケースの分担	所属職員全員	1人当たり時間外勤務時間数(月)	前年度比20時間減	20.75時間	職員給与費対医業収益比率
入院時から計画的に退院支援をする事が院内で定着し、突然の緊急な相談が減少するように、退院支援リンクナースを育成する	退院調整看護師、MSW	緊急相談の件数	年度初めより年度末に5%減	なし	職員給与費対医業収益比率
患者・家族の思いや意思決定を尊重して介護支援連携指導を実施する。	医師、病棟看護師、MSW、退院調整看護師	連携指導開催件数	10件/月	10件/月	医業収支比率
地域で必要なサービスが受けられ、その人らしく生活ができるように退院時共同指導を実施する。	医師、病棟看護師、MSW、退院調整看護師、その他コメディカル	共同指導開催件数	15件/月	10件/月	医業収支比率

Ⅳ 職員の学習と成長の視点 【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度(やりがい度)の獲得(職場環境、研修・教育、評価と処遇改善)
------	--------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

院内外の研修に積極的に参加し、地域における病院の役割を理解し、職員としての知識・スキルを高めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
院内外主催の研修に参加する	所属職員全員	参加数	5回/年	—	職員向け院内研修会の1人当たりの参加数
院内スタッフの地域連携に関する知識を高められるような研修を企画する(療養型病院、回復期病棟、自宅療養について等、それぞれの施設の医師を講師にお迎えしたい)	所属職員全員	開催数	2回/年	なし	(なし)

Ⅴ 社会貢献の視点 【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献(災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など)
------	----------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

地域のニーズに即した情報提供を行います。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
中央公民館 平成29年度市民大学講座で「ひとり暮らしで始める健康管理」で講義を担当する	退院調整看護師、MSW	開催数	年2回	なし	講座及び講演数

職員行動計画書

【平成29年度】

課名	経営企画課	総括責任者	課長	重田 昌巳
—		副責任者	課長代理	相澤 史幸

I 医療の質と効率の視点 【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①平塚市民病院将来構想を着実に推進します。
- ②適正な病院会計業務を遂行するとともに、定期的に経営収支状況を報告します。
- ③院内への将来構想の理念の浸透に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
経営戦略に対するKPIの進捗状況を自己点検及び平塚市民病院運営審議会の外部点検による適切な監理	事務職	進捗点検の実施	年2回	-	(なし)
職員行動計画の策定及び進捗管理	事務職	進捗点検の実施	年2回	-	(なし)
財務データに基づく出納状況の随時把握と財務諸表の定期的な作成	事務職	翌月末を期限に提出	年12回	-	(なし)
市議会等へ定期的な経営収支状況の報告	事務職	翌々月上旬に提出	年12回	-	(なし)
行動計画策定プロジェクトチームの設置及びワークショップHCHの運営管理	事務職	次年度のテーマ別「年度戦略」及び「主な行動計画」の提案	完了	-	(なし)

II 患者満足の視点 【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①データ分析により、業務改善や職場環境の活性化を推進します。
- ②電子カルテ等のシステム更新による職員及び患者の満足度の向上を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
病院や各部署の特徴、弱点、傾向を分析し、経営幹部や現場へ還元	事務職	分析報告	年4回	-	(なし)
電子カルテ等のシステムのスムーズな更新	事務職	更新時のシステム停止時間	48時間以内	-	(なし)

職員行動計画書

【平成29年度】

課名	経営企画課	総括責任者	課長	重田 昌巳
—		副責任者	課長代理	相澤 史幸

Ⅲ 経営・財務の視点 【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①事業運転資金を確保します。
- ②経営健全化のため、経営改善を実施します。
- ③費用対効果に優れたシステム保守を実施します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
データ分析から、各診療科の収益確保及びコスト削減策の提案	事務職	提案件数	年3件	-	経常収支比率
現金・預金残高の常時把握と、必要に応じた関係部署との調整及び資金調達	事務職	内部留保資金の増加	前年度末以上	-	現金預金残高
システムについて保守実績と保守費用から、妥当性の検証と価格交渉の実施	事務職	検証件数	5システム以上	-	経常収支比率
システム更新費用の抑制	事務職	執行率	予算額の95%以下	-	経常収支比率

Ⅳ 職員の学習と成長の視点 【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

院内外の研修に積極的に参加することで、職員の能力向上を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
経営マネジメント全般、職員行動計画の策定やデータ分析に関する研修会等への参加	事務職	研修会等への参加	年1回以上	-	(なし)
経理知識の向上を図るための研修会等への参加	事務職	研修会等への参加	年1回以上	-	(なし)
医療情報システムの知識、IT技術を深めるため、システム更新や保守、新技術等の情報収集	事務職	研修会等への参加	年1回以上	-	(なし)
院内研修会への参加	事務職	参加数	1人当たり5回	-	職員向け院内研修会の1人当たりの参加数

職員行動計画書

【平成29年度】

課名	経営企画課	総括責任者	課長	重田 昌巳
—		副責任者	課長代理	相澤 史幸

V 社会貢献の視点

【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①持続的な病院の健全経営により、公立病院が担うべき役割を果たします。
- ②病院経営の透明性の向上を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
病院や各部署の特徴、弱点、傾向を分析し、経営幹部や現場へ還元	事務職	分析報告	年4回	-	(なし)
将来構想の進捗状況の公表	事務職	公表回数	年1回	-	(なし)

職員行動計画書

【平成29年度】

課名	病院総務課	総括責任者	課長 伊藤 良一
—		副責任者	課長代理 若林正興、相原輝雄

I 医療の質と効率の視点 【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

良質な医療を提供するため、高度医療器械等の整備を行います。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
計画的な医療器械等の購入	医師、医療技術職、 看護職、事務職	A評価医療器械等購入 率	100%	—	(なし)

II 患者満足の視点 【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんの ために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①市民ニーズに応えた講座等へ講師等の派遣を行います。
- ②タイムリーな市民病院の情報を提供します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
市民向け講座等への講師等派遣	医師、医療技術職、 看護職、事務職	講師等派遣回数	13回	13回	情報発信件数
広報委員会を中心とした情報収集によるホー ムページの充実	医師、医療技術職、 看護職、事務職	ホームページアクセス数	19,500回/月	19,200回/月	情報発信件数
病院広報誌「Smile！」の発行	医師、医療技術職、 看護職、事務職	配布数	8,000部	8,000部	情報発信件数

職員行動計画書

【平成29年度】

課名	病院総務課	総括責任者	課長 伊藤 良一
—		副責任者	課長代理 若林正興、相原輝雄

Ⅲ 経営・財務の視点 【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①職員のコスト意識を高め、薬剤や診療材料の削減に努めます。
- ②事務の効率化を図り、職員給与費の削減に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
薬剤メーカーや卸に対するヒアリング、評価及び要請	薬剤師 事務職	ヒアリング開催数	2回	2回	薬品費対医業収益比率
診療材料メーカーや卸に対するヒアリング、評価及び要請	事務職	ヒアリング開催数	2回	1回	診療材料費対医業収益比率
長時間労働(月60時間以上)の職員に対する面談による事務の効率化の推進	事務職	1人当たり時間外勤務時間数(月)	前年度比で削減	46.05時間	職員給与費対医業収益比率
適切な職員募集と必要な職員の確保	病院幹部、看護職、 事務職	職員採用試験回数	10回	18回	(なし)
事務事業に関する業務改善の推進	事務職	業務改善報告件数	4件	4件	(なし)

Ⅳ 職員の学習と成長の視点 【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度(やりがい度)の獲得(職場環境、研修・教育、評価と処遇改善)
------	--------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

病院運営の理解と能力向上のため、院内研修会に積極的に参加します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
職員向け院内研修会への参加の促進	事務職	職員向け院内研修会への参加回数	1人当たり 5回	1人当たり3回	職員向け院内研修会の1人当たりの参加数

Ⅴ 社会貢献の視点 【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献(災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など)
------	----------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①市民病院周辺の良い環境づくりに努めます。
- ②市民ニーズに応えた講座等へ講師等の派遣を行います。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
病院周辺の清掃活動(ボランティア活動)	事務職(管理職)	清掃回数	1人当たり16回	-	(なし)
市民向け講座等への講師等派遣【再掲】	医師、医療技術職、 看護職、事務職	講師等派遣回数	13回	13回	講座及び講演数

職員行動計画書

【平成29年度】

課名	医事課	総括責任者	課長 田丸 勝巳
—		副責任者	担当長 田邊 高遠、守屋 正彦

I 医療の質と効率の視点 【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

地域のニーズに応える安全な医療を提供します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
新規クリニカルパスの導入(中止は含めない)	事務職	新規パスの作成	10種類増加	14種類	(なし)
医療事務委託業者との定期的な会議による精度の向上	事務職	会議開催数	毎月1回	-	(なし)
救急隊へのあいさつ回りによる救急搬送患者数の増加	医師、事務職	あいさつ回りの回数	年2回	年2回	救急患者受入数

II 患者満足の視点 【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①満足していただける医療(政策的医療)を提供します。
②患者さんからの意見を目に見える形で改善していきます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
患者満足度調査の実施	事務職	実施回数	年1回	1回	(なし)
待ち時間調査の実施	事務職	実施回数	年1回	0回	(なし)
院内コンサートの実施	事務職	実施回数	年3回	3回	(なし)
利用者の声の実現	事務職	実現件数	3件実現	16件	(なし)

職員行動計画書

【平成29年度】

課名	医事課	総括責任者	課長	田丸 勝巳
—		副責任者	担当長	田邊 高達、守屋 正彦

Ⅲ 経営・財務の視点 【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①施設基準の取得を推進します。
- ②コスト意識を持って経営に参画します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
施設基準の見直し	事務職	回数	月1回	月1回	入院診療単価
委託業者への収益診断及び精度調査実施の促進	事務職	回数	年4回	1回	医業収支比率
現年度未収金額	事務職	金額	前年度比3%減	0.3%減	医業収支比率
契約内容の精査による医療事務委託料の抑制	事務職	金額	H30年度委託料をH29年度比で5%減	-	医業収支比率
診療科別に診療行為の算定漏れやDPC包括内容を分析し、多職種の話し合いを行う。(平成29年度は外科で実施)	医師、看護師、事務(医事課)	改善報告書の作成	外科分報告書の作成	-	医業収支比率

Ⅳ 職員の学習と成長の視点 【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①「人」としての質と「組織」としての質を高めることができる風土づくりを推進します。
- ②委託業者への研修をします。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
院内及び院外の研修会に参加	事務職	件数	1人につき年5回	4回	職員向け院内研修会の1人当たりの参加数
委託業者との研修等	事務職	件数	月1回	0	(なし)
診療報酬に関する院内勉強会の開催	事務職	開催回数	年1回	1回	(なし)

職員行動計画書

【平成29年度】

課名	医事課	総括責任者	課長 田丸 勝巳
—		副責任者	担当長 田邊 高達、守屋 正彦

V 社会貢献の視点

【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

積極的に地域活動や人材育成などの社会貢献活動に参加協力します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
救急救命士病院実習受入人数	事務職	人数	毎年55人以上	61人(ワークのみ9人、再教育等52人)	社会貢献活動の実施数

職員行動計画書

【平成29年度】

室名	改築推進室	総括責任者	室長	二之宮 秀勇
—		副責任者	室長代理	野上 正志

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

高度な医療を支える医療機器更新に必要な既存施設改修に関する調査等を行います。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
アンギオ装置更新時の施設改修の状況の調査	事務職	調査回数	1回	-	重症度、医療・看護必要度(一般病棟)
薬剤部医療機器更新時の施設改修の状況の調査	事務職	調査回数	1回	-	重症度、医療・看護必要度(一般病棟)

II 患者満足の視点

【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さん のために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

患者や地域住民への情報発信を行います。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
地域版「建設だより」の発行	事務職	発行回数	年3回	2回 (12月・2月)	情報発信件数

III 経営・財務の視点

【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

職員のコスト意識の向上に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
業務の効率化による時間外勤務の削減	事務職	1人当たり時間外勤務 時間数(月)	前年度比10%削減	42.50時間	職員給与費対医業 収益比率

職員行動計画書

【平成29年度】

室名	改築推進室	総括責任者	室長	二之宮 秀勇
—		副責任者	室長代理	野上 正志

Ⅳ 職員の学習と成長の視点

【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

病院運営を理解するため、院内研修会等に積極的に参加します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
院内研修会への参加	事務職	参加回数	年5回/人	3～4回/人	職員向け院内研修会の1人当たりの参加数

Ⅴ 社会貢献の視点

【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

他病院の視察を受け入れ当院整備事業の有用情報を提供することで、社会貢献に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
病院視察受け入れ	事務職	受け入れ回数	1回	1回	(なし)

職員行動計画書

【平成29年度】

室名	災害医療企画室	総括責任者	室長	宮崎 宏道
—		副責任者	副室長	山中 享子

I 医療の質と効率の視点 【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

災害拠点病院として機能の向上を目指します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
災害対応訓練の実施	所属職員全員	実施回数	1回/年	1回/年	(なし)
自動参集訓練の実施	所属職員全員	実施回数	1回/年	0回/年	(なし)
病院防火訓練の実施	所属職員全員	実施回数	1回/年	1回/年	(なし)

II 患者満足の視点 【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

災害時に医療を提供します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
災害時に地域に医療を提供	所属職員全員	災害時の活動結果		なし	(なし)
地域(南原)防災訓練参加	所属職員全員	参加回数	1回/年	1回/年	(なし)

III 経営・財務の視点 【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

災害時に診療が継続できるようします。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
BCP(事業継続計画)の作成	所属職員全員	作成状況	作成されている	作成されている	(なし)
災害対応マニュアル改訂	所属職員全員	改訂回数	1回	なし	(なし)

職員行動計画書

【平成29年度】

室名	災害医療企画室	総括責任者	室長	宮崎 宏道
—		副責任者	副室長	山中 享子

IV 職員の学習と成長の視点

【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①災害医療企画室メンバーの能力向上を図ります。
- ②病院職員の災害に対する意識の向上を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
学会参加	所属職員全員	参加回数	1回/年	0回/年	(なし)
DMAT研修受講	所属職員全員	受講者数	4人	6人	有資格者数
災害医療研修の実施	所属職員全員	実施回数	2回/年	0回/年	職員向け院内研修会の1人当たりの参加数

V 社会貢献の視点

【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①災害医療拠点病院として社会に貢献します。
- ②研究活動に取り組みます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
発災時の医療活動の提供	所属職員全員	災害時の活動結果		熊本地震の際DMAT待機	(なし)
各種災害訓練参加(地域・県・国)	DMAT	参加回数	3回/年	4回/年	社会貢献活動の実施数
地域災害医療コーディネーターとして活動	医師	活動結果	2回/年	2回/年	社会貢献活動の実施数
研究発表	所属職員全員	発表回数	1回/年	0回/年	学会及び論文研究発表件数
論文発表	所属職員全員	論文数	1編/年	1編/年	学会及び論文研究発表件数

職員行動計画書

【平成29年度】

室名	感染対策室	総括責任者	部長	山田 健一郎
—		副責任者	科長代理	石井 美千代

I 医療の質と効率の視点 【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ① 医療関連感染の発生状況を把握し感染防止策の検討を行います。
- ② 抗菌薬の適正使用を推進します。
- ② 地域の医療機関と連携し感染対策の向上を目指します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
外科、整形外科、心臓血管外科の手術部位感染サーベイランスの実施	ICT(感染コントロールチーム)	感染率の提示	4回/年	2回/年	(なし)
中心静脈カテーテル関連血流感染、人工呼吸器関連肺炎のサーベイランスを実施	ICT(感染コントロールチーム)	感染率の提示	4回/年	8回/年	(なし)
抗菌薬適正使用支援チーム(AST)の立ち上げと担当医の支援	AST	介入件数	20件/月	33件/月	(なし)
感染防災対策加算1を算定している施設と相互評価を行なう	感染対策専従・専任	相互評価実施回数	1回/年	2回/年	(なし)
感染防災対策加算2を算定している施設とカンファレンスの実施	感染対策専従・専任	カンファレンス開催回数	4回/年	4回/年	(なし)

II 患者満足の視点 【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

患者さんおよび職員が気持ちよく過ごせるよう、安全で清潔な療養環境を整えます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
清掃ラウンドの実施	清掃施設管理チーム	清掃ラウンド回数	10回/年	6回/年	(なし)

職員行動計画書

【平成29年度】

室名	感染対策室	総括責任者	部長	山田 健一郎
—		副責任者	科長代理	石井 美千代

Ⅲ 経営・財務の視点 【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

職員ひとりひとりが感染対策を適切に実施できる状況を整え、医療関連感染による入院期間の延長を防ぎます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
感染対策マニュアルを追加・改訂	ICT(感染コントロールチーム)	マニュアル改訂	3種類以上	7種類	(なし)
院内ラウンドの実施	ICT(感染コントロールチーム)	ラウンド回数	1病棟あたり3回/月	1～4回/年	(なし)
手指衛生の実施状況調査を行い、適切に実施できるよう介入	ICT(感染コントロールチーム)	1患者当たりの看護師の消毒実施回数	1患者当たり1日5回	2.9～5.7回	(なし)

Ⅳ 職員の学習と成長の視点 【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

- ① 職員の感染対策の知識と技術の向上のため研修会を開催します。
- ② 感染に対する学会や研修などに積極的に参加し、知識を習得し院内外の感染対策に活かします。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
全職員対象研修の実施	ICT(感染コントロールチーム)	受講率	90%以上	100%	(なし)
部門別研修の実施	ICT(感染コントロールチーム)	実施回数	4回以上/年	6回/年	(なし)
研修会・学会への参加	看護師	参加数	2回以上/年	2回/年	(なし)
市町村立病院七市の情報交換会への参加	看護師	参加数	10回以上/年	11回/年	(なし)

職員行動計画書

【平成29年度】

室名	感染対策室	総括責任者	部長	山田 健一郎
—		副責任者	科長代理	石井 美千代

V 社会貢献の視点

【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

- ① 高齢者施設等へ根拠ある感染対策の普及活動を行います。
- ② 市民に向けた講演会を実施し地域での感染対策の向上を目指します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
高齢者施設等への勉強会の開催	感染対策専従・専任	実施数	2回以上/年	5回/年	講座及び講演数
市民に向けセミナーの実施	感染対策専従・専任	実施数	1回以上/年	1回/年	講座及び講演数